

薬局経営者向け

オンラインセミナー

緊急開催

# 薬剤師1名+ 在宅アシスタント0.5名で 月間粗利200万の高生産性を 目指せる!

## 高生産性を実現する 調剤薬局個人在宅セミナー

このような個人在宅に対するイメージが大きく変わります!

- ✓ 個人在宅は数が多くなると採算が合わない…
- ✓ 効率的に在宅業務が行えていない…
- ✓ 地域の連携活動に充てられる時間がない…

### 個人在宅で収益を出すための3つのポイント

- 1 薬局が在宅医療で差別化を図るポイントとは?
- 2 在宅紹介件数が増えていく医療連携とは?
- 3 在宅クリニックから連携したいと思えるような薬局とは?

Webからも成功の秘訣を  
ご覧いただけます。  
今すぐお申込みください!



全日程オンライン開催 PC・スマホで自宅・事務所から参加!

2023年

1月15日(日) 10:30~12:00  
1月19日(木) 15:00~16:30

1月29日(日) 10:30~12:00  
2月4日(土) 15:00~16:30

### 豪華2大セミナー特典

- ① 貴社の商圈調査 貴社の薬局の店舗が個人在宅を展開するために適切かどうかを調査いたします。
- ② 薬局専門のコンサルタントによる無料経営相談

一般価格 税抜10,000円(税込11,000円) / 一名様  
会員価格 税抜8,000円(税込8,800円) / 一名様

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、および関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

主催



明日のグレートカンパニーを創る

Funai Soken

高生産性を実現する調剤薬局個人在宅セミナー

お問い合わせNo. S094062

船井総研セミナー事務局

E-mail: seminar271@funaisoken.co.jp

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル ※お問い合わせの際は「セミナータイトル・お問い合わせNO・お客様氏名」を明記の上、ご連絡ください。

Webからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索窓に「お問い合わせNO.」を入力ください。) → 094062

# 高生産性を実現する調剤薬局個人在宅セミナー

全日程  
Web  
開催

2023年

※全日程とも内容は同じです。ご都合のよい日程をお選びください。

1月15日(日) 10:30~12:00  
[ログイン開始 10:00~]

お申込み期限:1月11日(水)

1月19日(木) 15:00~16:30  
[ログイン開始 14:30~]

お申込み期限:1月15日(日)

1月29日(日) 10:30~12:00  
[ログイン開始 10:00~]

お申込み期限:1月25日(水)

2月4日(土) 15:00~16:30  
[ログイン開始 14:30~]

お申込み期限:1月31日(火)

## PC・スマホでセミナー参加!

ご都合の良い開催日を選択してWeb受講が可能です。

本講座はオンライン受講となっております。諸事情により受講いただけない場合がございます。ご了承ください。  
オンラインミーティングツール「Zoom」を使用いたします。Zoomご参加方法の詳細は「船井総研 Web参加」で検索

## セミナー参加料

一般価格

税抜10,000円(税込11,000円) / 一名様

会員価格

税抜8,000円(税込8,800円) / 一名様

日程がどうしても合わない企業の皆様へ 個別経営相談承ります まずは、お問合せください TEL.0120-958-270 [平日 9:45~17:30] 担当:吉田

講座	セミナー内容・講師
第1講座	<h3>今こそ個人在宅に取り掛かろう!</h3> <p>儲からないと敬遠されがちな個人在宅。 しかし、薬局の取り組み方次第では外来よりも高生産性を実現することが可能に! 今こそ調剤薬局が個人在宅に取り組むべき理由についてお伝えします!</p> <p>株式会社船井総合研究所 在宅医療チーム リーダー <b>安室 圭祐</b></p>
第2講座	<h3>外来よりも生産性が高い個人在宅の営業戦略</h3> <p>個人在宅で高生産性を実現するための手法とは? 組織体制の構築や営業戦略などポイントをお伝えします!</p> <p>株式会社船井総合研究所 在宅医療チーム <b>吉田 貴大</b></p>
第3講座	<h3>まとめ講座</h3> <p>明日から実施していただきたいこと。</p> <p>株式会社船井総合研究所 在宅医療チーム リーダー <b>安室 圭祐</b></p>

## 講師紹介



株式会社船井総合研究所  
在宅医療チーム リーダー **安室 圭祐**

新卒で船井総合研究所に入社後、調剤薬局の人財に関するコンサルティングに従事。薬剤師の採用から教育、育成まで幅広く支援をすることで、人財に関する悩みを解消している。

資格者に「経営者の価値観」「企業の方向性」をわかりやすく伝え、理解を促しながら、業績アップにつながる人財の育成をすることで、調剤薬局の業績アップに貢献している。



株式会社船井総合研究所  
在宅医療チーム **吉田 貴大**

明治大学経営学部を卒業後、新卒で船井総合研究所に入社。

入社後は、調剤・医科のご支援を経験し、現在では、在宅医療をテーマに調剤薬局・在宅クリニックのコンサルティングに従事。

在宅営業支援では現場主義を第一に掲げており、地域性やその会社の強みを最大限に生かしたコンサルティングをモットーにしている。

Webから  
お申込み  
いただけます!

右記のQRコードを読み取りいただきWebページのお申込みフォームよりお申込みくださいませ。  
※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。

セミナー情報をWebページからもご覧いただけます!

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/094062>

【TEL】0120-964-000  
(平日9:30~17:30)



【年末年始休業のお知らせ】2022年12月28日(水)正午~2023年1月5日(木)まで ※休業期間中は電話がつかなくなっております。\*Webからのお問い合わせには1月6日以降順次で回答させていただきます。\*なお、受講申込みはWebより24時間受け付けております。ご不便をお掛け致しますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

調剤薬局経営者の皆様、いつもお世話になっております。  
株式会社船井総合研究所の安室と申します。

いつも弊社ご案内、私たち在宅医療チームのご案内をご覧いただき、誠にありがとうございます。またこの度”この”ご案内を手にとっていただき感謝いたします。

2022 年度も弊社の在宅医療チームは日本全国の調剤薬局の現場への訪問とコンサルティングを通じた業績アップノウハウを開発し、皆様に発信させていただきました。

さてこの度、弊社主催の「高生産性を実現する調剤薬局個人在宅セミナー」を開催いたしますのでそのご案内をさせていただきます。

**調剤薬局の個人在宅に対して、「個人在宅は件数が多くなると採算が合わない…」  
「効率的に在宅業務が行えない…」「患者宅同士が離れており、移動に時間がかかる…」**

**このようなイメージを持たれている薬局の経営者は多いのではないのでしょうか。**

我々も日々、全国の調剤薬局の経営者から「ニーズがあるのはわかるけど、自社では対応しきれない」「個人在宅は生産性が悪く、やればやるほど損をしてしまうから、地域支援体制加算 2 が取れるぐらいの件数が良い」「在宅の件数を伸ばすなら生産性の高い施設在宅をメインでやっていきたい」というお声を多数いただきます。

確かに、需要が増えているとはいえ、一般的に生産性が低くなる個人在宅に、積極的に件数を伸ばしていくことは考えにくいかと存じます。また、月に 2 件程度個人宅で居宅療養管理指導料を算定すれば、地域支援体制加算 2 の要件を 1 つ満たせるため、それほど多くの患者様を対応しなくてもよいと考えていらっしゃる経営者の方も多くいらっしゃいます。

しかし、一方で施設在宅においても、全国的に市場がレッドオーシャンとなっており、調剤薬局のサービス合戦に立ち向かわなければならず、施設の獲得が困難になっております。

⇒次項へ

また、今年の診療報酬改定で地域支援体制加算2の要件に個人在宅の数が条件として追加されました。この改定により、ますます個人在宅の重要性が増してきたことがうかがえるかと存じます。

多くの在宅患者様から求められている個人在宅に注力し、高生産性を実現することが、ズバリ薬局の今後の次世代戦略になります。

では、どのように個人在宅で高生産性を実現するのか？

モデル数値上、**薬剤師1人+ドライバー1名で1日12件の個人在宅へ訪問できるようにすれば、1人当たりの粗利生産性が100万円/月となり外来よりも圧倒的に高い生産性が実現可能**です。（一般的な外来：1人当たりの粗利生産80万円/月）

※個人在宅における処方箋単価を15,000円、粗利7,500円と仮定（薬材料7,500円+技術料・管理料2,500円+居宅療養管理指導料5,000円）

※個人在宅処方箋1枚×12件＝粗利90,000円/日

※粗利90,000円/日×22日（営業日）＝1,980,000円/月

弊社の在宅医療チームは個人在宅でどのようにして高生産性を実現できるのかを考え、調査をしておりました。ある時弊社の在宅クリニックのコンサルタントをしている者がクライアントである在宅クリニックと組んでいる薬局が高生産性で個人在宅に取り組んでいるという成功事例を見つけました。

なぜ個人在宅が中心にも関わらず、高生産性を実現できているのか？調査をしてみるとその理由は

**①在宅業務に力を入れるための組織体制を構築している**

**②在宅中心薬剤師と地域連携担当者による『在宅専門チーム』を作っている**

**③在宅紹介数を増やすための地域医療連携活動に取り組んでいる**

の3つであると判明しました。

私たちは上記の成功事例をいち早く全国の薬局経営者の皆様にお伝えしたく、緊急で本セミナーを開催させていただきました。

⇒次項へ

セミナー内では上記の 3 つのポイントを具体的な手法レベルまでに落とし込み、セミナーを視聴された次の日からでもすぐに行えるような具体的な営医療地域連携活動への取り組み方・連携先から認められる在宅業務を取り組むための組織体制についてお伝えさせていただきます。

- ・個人在宅でも高生産性を実現したい！
- ・個人在宅を通して、地域医療に貢献できる薬局になりたい！
- ・在宅紹介数を増やすための具体的な連携活動の手法を知りたい！
- ・在宅で地域一番化を目指したい！
- ・全社で在宅に取り組んでいくための組織体制を知りたい！

上記のような方には是非ともご参考にさせていただければと思います。

我々としては何よりも、皆様が日々磨き・提供されている「地域に必要な医療」を、「必要としている在宅患者様・連携先」に知っていただき紹介へとつなげるために、今回のテーマである「個人在宅」についてあり方とやり方を知っていただきたいと考えております。

今回のセミナーが1人でも多くの薬局経営者の皆様のお力になれば幸いです。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございます。

株式会社船井総合研究所  
地域包括ケア支援部 内科・在宅医療グループ  
在宅医療チーム リーダー  
安室 圭祐